

共同プレスリリース
日フィジー財務協議（仮訳）

2023年10月26日

1. 令和5年10月26日、フィジーのスバにおいて、フィジー財務省と日本財務省は、日フィジー財務協議を開催した。財務協議において、プラサド副首相兼財務、戦略策定、国家開発・統計大臣がフィジー側を、神田財務官が日本側を代表した。
2. 本協議において、両者は世界及びフィジーの経済動向、同国の政策課題、及び日フィジー間の協力について意見交換を行った。日本は、フィジーによる、コロナウイルスのパンデミック後の回復への努力、及び持続可能で包括的な成長の確保を目的とし、債務の持続可能性を強化するための連立政権のバランスの取れた2023-2024年度国家予算を通じた財政再建へのコミットメントを歓迎した。また、日本は、税関執行業務を含むフィジーの歳入徴収の能力強化のための能力構築支援を拡充することにコミットした。
3. 両者は、グローバルな金融システムへの統合を促進し、ひいては金融包摂を進めるため、太平洋地域における金融の健全性を強化することの重要性を議論した。日本は、アジア・太平洋地域のための金融活動作業部会型地域体である、アジア太平洋マネーロンダリング対策グループ（APG: Asia/ Pacific Group On Money Laundering）の次期共同議長として、APGを通じた太平洋地域の能力構築を支援している。
4. 両者は、気候変動がいかにフィジー及びより一般に太平洋島嶼国を脅かしているかについて議論し、自然災害からの迅速な復旧を確保する上で災害リスクファイナンスが果たす重要な役割を強調した。この点に関して、日本は、太平洋自然災害リスク保険イニシアティブ（PCRAFI）の下、フィジーが太平洋災害リスク保険会社（PCRIC）と、サイクロンと豪雨をカバーするパラメトリック保険契約締結に向けた進展を歓迎した。更に、両者は、災害復旧スタンドバイ借款フェーズ2の組成の可能性を追求することで一致した。
5. 両者は、両国の間で二国間関係を更に強化するため、引き続き緊密なコミュニケーションを行うことで合意した。神田財務官は、カミカミザ副首相兼貿易、企業、中小企業、通信大臣とも面会を行った。